

2023年4月13日  
三井化学株式会社  
株式会社プライムポリマー

## マスバランス方式によるバイオマス PP「Prasus<sup>®</sup>」が、 隈研吾氏デザインの食器に採用

三井化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 修）は、BePLAYER<sup>®</sup> ブランドのもとバイオマスナフサによる誘導品（バイオマス化学品、バイオマスプラスチック）の展開を拡大しています。この度、三井化学も参加する株式会社 hide kasuga 1896（本社：東京都港区、代表取締役：春日 秀之）<sup>※1</sup>との共同プロジェクトにおいて、同社が運営する環境調和型ブランド「hide k 1896（ヒデケー1896）」の隈研吾氏<sup>※2</sup>デザインの食器に、株式会社プライムポリマー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：藤本 健介）が製造販売するマスバランス方式のバイオマス PP（ポリプロピレン）「Prasus<sup>®</sup>」が採用されました。

この食器は、トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：松尾 勝博）が開発した「TABWD<sup>®</sup>」の技術をベースに適用開発した、形を変えて循環する新たな木材「TRANSWOOD（トランスウッド）」<sup>※3</sup>を使用しており、間伐材の有効利用と、バイオマス PP の使用により CO<sub>2</sub> の削減に貢献します。

三井化学とプライムポリマーは、循環経済の実現に向け、「Prasus<sup>®</sup>」を始めとする当社グループの BePLAYER<sup>®</sup> ブランド製品販売を通じ、着実にバイオマスの社会実装を推進してまいります。

なお、「hide k 1896」の本食器は、4月26日より三越伊勢丹オンラインストアにて販売、また日本橋三越本店にて5月10日～5月16日の間、本館5階洋食器売り場にて販売されます。

URL : [https://www.mistore.jp/shopping/brand/living\\_art\\_b/006606.html](https://www.mistore.jp/shopping/brand/living_art_b/006606.html)



Prasus<sup>®</sup>を使用した食器

### ※ 1 株式会社 hide kasuga 1896

工学博士の春日秀之氏が代表を務めるマテリアルシンクタンク。ブランド開発からマーケティングまで幅広いコンサルティングサービスを提供。自社事業としては2つのサーキュレーションブランド〔BLANC BIJOU PARIS (PTFE)〕〔hide k 1896 (コンポジットテキスタイル / トランスウッド) 旗艦店：表参道〕を運営。信州大学国際科学イノベーションセンター内に開設した研究所〔hide kasuga LABO〕では、素材の適用開発から技術開発、リサイクルスキームの構築、サーキュラーエコノミーコンソーシアム事務局の運営を行っている。

### ※ 2 隈研吾



本食器は世界を代表する建築家〔隈研吾氏〕によるデザイン。「hide k 1896」のブランドビジョン“未来の循環社会に向かって”に共感し、“循環する木”の魅力をシンプルなフォルムで表現。

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在東京大学特別教授・名誉教授。30を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。主な著書に『全仕事』（大和書房）、『点・線・面』（岩波書店）、『負ける建築』（岩波書店）、『自然な建築』、『小さな建築』（岩波新書）、他多数。

### ※ 3 TRANSWOOD

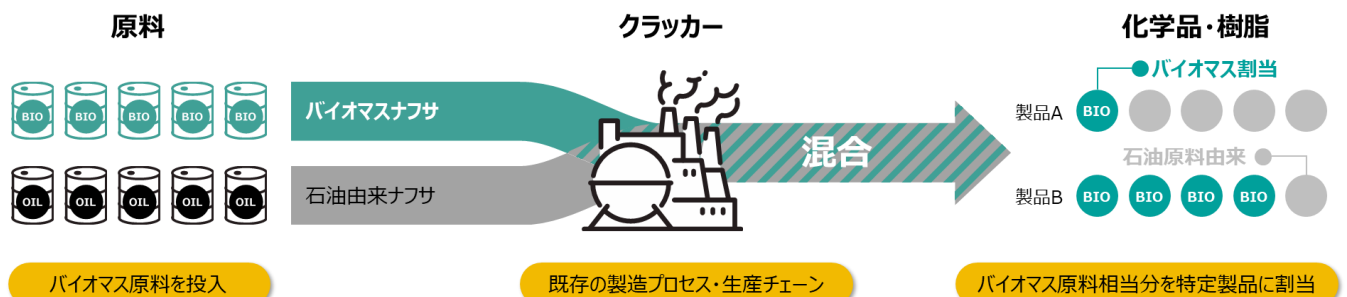
トヨタ車体株式会社が開発した、間伐材の木粉と樹脂を複合化した射出材料「TABWD<sup>®</sup>」の技術をベースに適用開発した形を変えて循環する新たな木材「TRANSWOOD（トランスウッド）」は、間伐材と「Prasus<sup>®</sup>」を配合した新素材。

## ■ マスバランス方式（物質収支方式）

「原料から製品への加工・流通工程において、ある特性を持った原料（例：バイオマス由来原料）がそうでない原料（例：石油由来原料）と混合される場合に、その特性を持った原料の投入量に応じて、製品の一部に対してその特性の割り当てを行う手法」（環境省バイオプラスチック導入ロードマップ）を言います。

石油由来のプラスチック・化学品と物性が全く変わらないこと、これまで難しかった素材でもバイオマス化が可能となるなど、カーボンニュートラル社会の実現に向けて社会全体のバイオマス度を向上させるための重要なアプローチです。三井化学グループでは、既に約30の製品でマスバランス方式によるバイオマス化を実現しています

（2022年11月現在）。また、サーキュラーエコノミーにむけたリサイクルソリューションとして展開されていくケミカルリサイクルにおいても、マスバランスは重要な役割を果たします。



## ■ BePLAYER®

バイオマスでカーボンニュートラルへ



BePLAYER®は温暖化問題の解決のために、社会のバイオマス化を進める取り組みです。マスバランス方式によるバイオマス製品、セグリゲーション方式によるバイオマス製品、その他カーボンニュートラルに貢献する製品・技術の展開を進め、社会のGHG 排出量削減に大きく貢献していきます。

## ■ Prasus®



株式会社プライムポリマーが展開する、新しいフィードストックを使用したマスバランス方式による環境にやさしい持続可能な製品（ポリエチレン、ポリプロピレン）のブランド名

以上

<BePLAYER®に関するお問合せ>

三井化学株式会社 ESG 推進室 [https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc\\_sustainability\\_ja](https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_sustainability_ja)

<Prasus®に関するお問い合わせ>

株式会社プライムポリマー 企画管理部 <https://www.primepolymer.co.jp/form/jp/inquiry/form01.php>

<リリースに関するお問い合わせ>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL : 03-6880-7500

[https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc\\_pr\\_csr\\_ja](https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja)